

CONISIS

5602 TUBE PROCESSOR **Nutube**

この度は弊社製品をお買い上げ戴き誠に有難うございます。

5602 は新型真空管Nutubeを採用のアクティブコントロールラインプロセッサです。Nutubeの登場により 500 シリーズに真空管の搭載が可能に。真空管、トランスはもちろん、メタルカン半導体やタンタルコンデンサなど脇を固める部品たちもビンテージの面々。真空管のマイルドな音でコニシスならではの高性能。まさに超小型ビンテージの登場です！

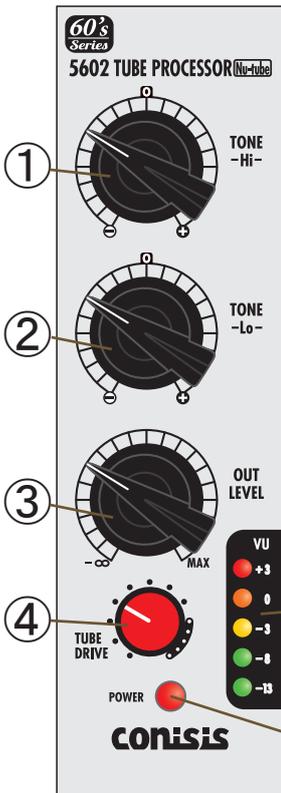
**60's
Series**

コニシス 60年代シリーズは、新世代真空管 Nutube の登場により現在のシステムに再現が可能になったビンテージサウンド復活シリーズです。真空管とトランスによる回路構成がコニシス 60's シリーズの基本です。コニシスのディスクリートテクノロジーが Nutube の登場で真空管OPアンプの構成を可能にしたことにより、真空管サウンドの豊かさとディスクリートサウンドの切れ味や特性の良さの融合を実現しています。

《機能説明》



製品を安全にお使い戴くため、ご使用前に必ずお読みください。



- ① TONE HI
高域を増減させるノブです。
- ② TONE LO
低域を増減させるノブです。
- ③ OUT LEVEL
出力の音量を可変させるノブです。
- ④ TUBE DRIVE
真空管に流すバイアス電流を可変します。
一番左に絞った状態がデフォルトでありノーマルです。通常はこの位置での使用が標準です。
右に回すほど電流が増大し、最大付近では真空管の許容をオーバーします。
好みの音質の位置でお使いください。
**【注意】ツマミは極力ゆっくりと回してください。
速く回すとバイアス電流の変化により音の基準点がずれるため、
時間が経つと回復しますが一時的に音が出なくなります。**
- ⑤ VU
出力のレベルをVU表示します。
- ⑥ POWER
5602に電源が供給されていることを点灯により表示します。

【推奨入力レベル】 +4 dBm

【入カインピーダンス】 10K Ω / トランスバランス 【出カインピーダンス】 600 Ω / トランスバランス